



高速しが

平成30年
3月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

13台玉突き1人死亡!!

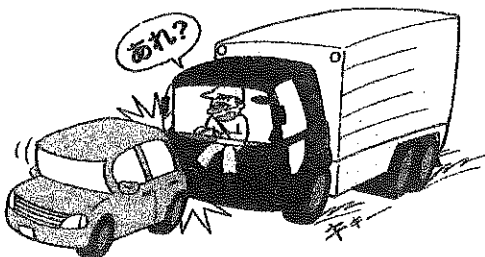
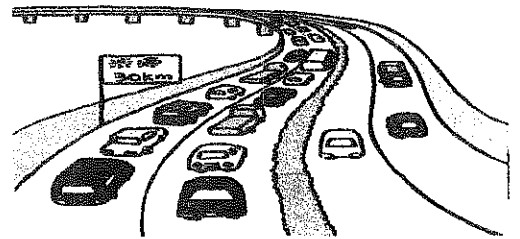
発生日時 : 平成30年2月5日午前10時20分頃
 発生場所 : 大津市石山平津町 京滋バイパス上り線
 発生状況 : 渋滞中の車両に事業用トラックが突っ込み、13台が関係する多重事故が発生
 被害状況 : トラックに追突され炎上した乗用車の運転手1名が死亡

追突事故を防ぐために!

高速道路で発生する交通事故のうち、渋滞などにより本線上で一時停止している車に追突するケースが半分以上を占めます。漫然運転や脇見運転をしたり、車間距離を十分にとらずに追従して、前の車の減速に気づくのが遅れブレーキが間に合わず追突したというケースが大きな特徴です。

◆交通量が多い時は、
先行車群の流れの停滞を予測!

※ 先行車の速度に注意。車の流れを読んで急激な減速に対処できる運転を。

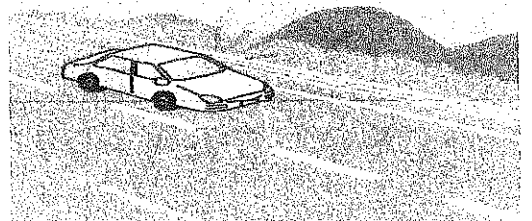


◆先行車群に追いついた時は、
渋滞などによる先行車の減速・停止を警戒!

※ 先行車の流れに合わせ安全に停止できる車間距離とる。
 ※ 渋滞情報に注意する。

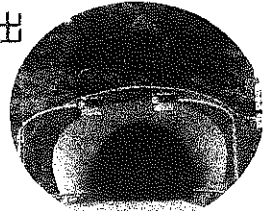
◆勾配が変化している区間では、
車群の流れの乱れを警戒!

※ 上り坂では後方や隣車線の動きに注意。
 下り坂では速度に注意。



トンネル走行時のポイント

高速道路には数多くのトンネルが作られておりますが、トンネルには、暗いトンネル、狭いトンネル、長いトンネル、短いトンネルなど、場所によってその構造も異なっています。風景のないトンネル内では、知らず知らずのうちにスピードが出すぎたり、車間距離を詰めてしまうなど事故に直結する事案が起きてしまいがちです。トンネル内という逃げ場のない場所で一旦事故が発生すると、多くの車両が巻き込まれる大事故に発展しかねないことを十分に認識して、安全走行に努めてください。

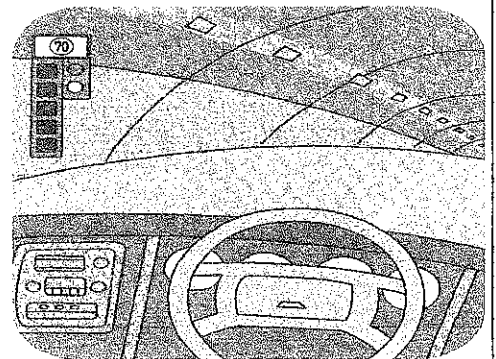


トンネルの入り口では

トンネルの入り口に設置されているトンネル入り口情報板やトンネル入り口信号機に注意して走行しましょう。進入禁止の表示や赤信号の時は、ハザードランプなどで後続車に合図しトンネルの外側で停車してください。

感覚のずれに注意

トンネル内では、風景が単調なため走っている車なのか、止まっている車なのかをとっさに判断しにくくなります。このような感覚のずれによる判断の遅れが、事故に結びつくことがあるのです。



気がつきにくいトンネルの勾配

トンネル内は勾配を感じさせる対象物が少ないため、知らないうちにスピードが出すぎたり、スピードダウンしてしまい、急激に車間距離が詰まってしまいがちです。勘に頼らずスピードメーターを確認しながら走りましょう。

ブラックホール現象

外の明るさとの対象で、トンネルに入っていく前の車が、トンネルの黒い影に吸い込まれて見えにくくなる現象をいいます。そのため、ドライバーが不安になりスピードを落とし、スピードの落ちた車に後続車が追突するケースがあります。

